

社会の変遷と言語の変化

——新語に見られる呼称語——

劉 柏林



言語は時代の発展に従って、既存のものでは社会の現状を表現することができなくなり、新語が生まれくるものである。歴史の資料を見ると、中国では何回か新語が生まれるピークがあった。魏晋南北朝には、仏教言語からたくさん用語が漢語の新語として取り入れられた。唐代には西域から数多くの言葉が漢語に入ってきた。一九二〇年代には中国では「白話文運動」が広く行われ、外国語の大量の語彙と表現法が漢語に入ってきた。新中国になってからは、社会主義制度の確立によって、文字の簡略化が推進され、それに伴って、新しい言葉と表現法が数多く生まれた。一九八〇年代から、中国では改革開放政策がとられて、市場経済のメカニズムが導入され、海外からの投資や技術の導入と同時に海外の文化も中国に入ってきた。そのため、中

国社会に大きな変化が見られた。特にインターネットの普及によって、各分野にたくさんの新語が出現した。

この二〇年間、新語が平均して毎日三語という勢いで生まれてきたという。最近の数年間では十数冊もの新語辞書が出版された。そのうちのひとつで、中国の商務印書館で出版された『新華新詞語詞典』には中国社会における使用頻度の高い新語二二〇〇項目およびそれに関連する言葉が四〇〇〇項目収録されている。その語彙は政治、経済、社会保障、国際関係、IT、医学、環境保護、スポーツ、法律、教育、科学技術、軍事、ファッション、不動産など、社会の各分野に涉っている。中国では経済活動の展開につれて、社会における人間関係にも変化が起りつつあり、人の呼称も変わっている。筆者は言語と文化の視点から、この辞書

を調べてみたが、人の呼称語として用いられるものが一〇五語にも上っている。中国社会の生活において、新しい呼称語は実際にはもつと多い。概観した中から集めた新しい人的関係呼称語は下の一覧に整理したように三五〇語あまりである。中国で呼称語の出現が短期間にこのように数多く見られるのは空前のことであろう。

呼称の問題は、人々の社会的属性や人間関係の価値観を反映し、その社会の文化、政治的背景、伝統、習慣と密接な関わりを持つている。言葉の中に呼称語が豊富で、複雑であればあるほど、その民族が人間関係、人の身分や地位を重視することを物語っていると見える。おそらく中国人ほど呼称語に拘る民族はなかるう。中国語はもともと呼称語が多かったのだが、社会の大きな変化に伴って、人々の社会での役割分担や存在の仕方にも変化が見られ、人間関係も絶えず調整され、そのため、人に関する新しい呼称語が生まれた。それと同時に、古い呼び方も新語として再登場し、新しい意味合いをつけて用いられる場合もあるのである。

例えば、新しい呼称語の「打工仔」（出稼ぎ人夫）、「打工妹」（出稼ぎ娘）、「辣妹子」（ホットガール）、「款爷」（金持ち）、「哈日族」（日本大好き族）などに加えて、旧い呼び方の復活した「老板」（商店の主人、社長）、「老板娘」（おかみさん、社長夫人）などや旧い呼び方に新しい意味の添加

された「爱人」（配偶者）、「同志」などが入り混じっている。新語や呼称語は社会の万華鏡であり、社会の発展と変化を観察するためのバロメーターでもある。新語およびその呼称語の意味、社会的な背景を理解すること、および新しい呼称語の特質について研究することは社会の変化や発展の性格を知る重要な手段ともなる。

本稿では、激動する一九八〇年代からの中国社会に現れた人に関する新しい呼称語を分析し、それぞれに対応する日本語の訳語を提示してみた。読者の中国理解に役に立つことがあれば幸いである。また新しい呼称語の選択や対応する日本語表現のあて方について、読者から是非ご批判をいただきたいと願っている。

一 新しい呼称語の分類と日本語訳・意味

(一) 職業

(中国語)

(日本語)

农民工

出稼ぎ農民

打工族

出稼ぎ族、フリーター

打工仔

出稼ぎ人夫

洋打工

(外国から来た)出稼ぎ外人

老板

大将、社長(商店や工場などの主人、個人経

営者)

个体戸 個人経営・自営業者

暴发戸 成金

包工頭 請負業のかしら、親方

小白領 ホワイトカラー(高収入の若者)

的哥 男性タクシー運転手

摩的人 オートバイタクシーの運転手

板爷 人力三輪車の車夫

黒領 三K労働者

蓝領 ブルーカラー

金領 ビジネス・エリート

金領工人 高級技術労働者

文員 文章担当者(書記)

老总 技師長、編集長、社長

礼仪先生 (催しの)男性コンパニオン

自由撰稿人 フリーライター

形象大使/形象代言人 イメージキャラクター

形象设计师 スタイリスト、メーカーキャップ・アーティスト

跑街先生 男性保険外交員

电视人 テレビ番組制作者

蜘蛛人 ビルのガラス窓清掃員

地陪 現地ガイド

全陪

野导 全行程随行者

调酒师 ①無免許ガイド ②悪質なガイド

CIO パーテナー

COO 首席情報管理官

CEO 最高経営責任者、CEO

CFO 首席監査役

DJ 番組司会者

SOHO族 SOHO族

猎头 人材派遣人、ヘッドハンター

猎戸 ①獵師 ②人材派遣業者

自由职业者 自由業者

开发商 デベロッパ

小保姆 若いベビシッター、お手伝いさん

打工妹 出稼ぎ娘

小时工/钟点工 パートタイマー、通いのお手伝いさん

空姐 スチュワーデス、女性客室乗務員

空嫂 既婚の女性客室乗務員(スチュワーデス)

的姐 女性タクシー運転手

导购小姐 デパート、商店の案内嬢

公关小姐 (企業の)渉外接待嬢

粉領 女性事務員、OL

收銀小姐

若い女性のレジ係

寻呼小姐

ポケベル交換手

导游小姐

女性ガイド

礼仪小姐

(催しの)女性コンパニオン、キャンペーン

ガール

坐台小姐

ホステス、キャバクラ嬢

名模

トップモデル

服装模特

ファッションモデル

超級模特

スーパー・モデル

月嫂

出産介護者

小美女作家

若い美人作家

巴嫂／巴姐

バス会社の女性従業員

邮嫂

既婚女性郵便局員

险嫂

既婚女性保険外交員

保安嫂

女性警備員

(二) 社会

下岗工人

リストラされた労働者

下岗人员(下岗族) 失業者、リストラ族

义工／志愿者

ボランティア

飘族／飘一代

フリーのエンジニア

先生

①成人の男性に対する呼称

②(こ)主人

小姐

①未婚の女性に対する呼称 ②風俗業に従事する女性

素食族

ベジタリアン、菜食主義者

丁克族

DINKS、ディンクス(共稼ぎで子供のいない夫婦)

紳士、フェミニスト

新好男人

紳士、フェミニスト

单身贵族

独身貴族

工薪族

給与生活者、サラリーマン

平面人

物の見方や考え方に深みのない人

老三届

六六、六七、六八年(中)高卒

新三届

七〇、七一、七二年(中)高卒

侃爷

おしゃべりな男性

家庭主男

専業主夫

小皇帝

小皇帝(甘えん坊でわがままに育った一人っ子)

吧蝇

キャバレー好き

变性人

性転換者

业内人

業界人

铁哥们

男同士の親友

铁姐们

女同士の親友

老公

主人、うちの旦那

旧人类

一九七〇年代以前に生まれた世代

新人类・新新人类

新人类(一九七〇年代・一九八〇年代)

新生代

以降に生まれた若者
実力のある若い世代

香蕉人

外国育ちの中国人

善意第三人

善意の第三者

老外

①外人さん ②門外漢

老记

記者(自称)

公众人物

マスコミに注目されている話題の人物

知本家

高度な知識を元手に社会的に成功した人

照主

営業免許(所持者)保有者

边缘人

キョーカイ人(境界人)

轮椅族

車椅子族(身体障害者)

第三者

①第三者 ②浮気の相手

业主

①不動産のオーナー ②家主

盲流

都市流入求職者(農村から都市へ無秩序に
流れ込む出稼ぎ農民。差別語)

白領族

ホワイトカラー

白領丽人

女性ホワイトカラー

托

さくら、やらせの客

倒谷

闇ブローカー

房虫

不動産ブローカー

啄木鸟

顧客サービス覆面監視員

大佬/大款

金持ち

师傅

親方(男女を問わない。一九七〇年代以降

外企人

流行した呼称
外国企業で働く人

膀爷

上半身裸の下町の男性

外星人

エイリアン

猛男

筋肉マン

少年业主

未成年の家の所有者

专业户

專業農家

万元户

万元戸(年収一万元以上の世帯)

拆迁户

移転世帯

钉子户

移転拒否世帯

关系户

得意先、コネクション

困难户

困窮家庭

特困户

特別困窮家庭

住房特困

(住宅困難家庭

冒尖户

突出富裕家庭

救济户

生活保護世帯

救助户

生活保護世帯

女强人

強い女

军嫂

軍人の妻

警嫂

警察官の妻

芭嫂

バレエで体の鍛錬をする既婚女性

代孕母亲

代理母

单亲妈妈

シングルマザー

未婚妈妈	シングルマザー、未婚の母
未婚子女	①未婚の子供 ②シングルマザーの子
全職太太	専業主婦
全職妈妈	子供をもつ専業主婦
回家妇女	仕事をやめて専業主婦になった女性
女性主义者	フェミニニスト
大婆	本妻
小蜜	秘書兼愛人
二奶	妾、二号(夫人)
爱人	①配偶者 ②愛人
留守女士	海外出稼ぎ者の妻
准处女	結婚に無関心な娘
大男大女	結婚適齢期を過ぎた男女
大龄青年	結婚適齢期を過ぎた人
露水夫妻	同棲している男女
红唇族	①ビンロウ好き ②口紅族
不完美女孩	九〇点ガール
槟榔西施	ビンロウ売りの女性
吧娘	バーのママ
吧女	バーのホステス
发廊妹	ヘアサロンの女の子(風俗業)
环球小姐	ミス・ユニバース
世界小姐	ミス・ワールド

失足青年	訳ありの青年、非行歴のある若者
问题儿童	問題児
问题少年	問題少年
千年娃娃	ミレニアムキッズ
竹笋族	竹の子族
陪老	老人の話し相手
青春族	若者(二五―三五歳)
同志	①同志 ②同性愛者
色狼	スケベ、色情狂、色きちがい
车狼	暴走族
外来户	よそ者
外来妹	出稼ぎ娘
名嘴	テレビのトップ司会者
新新女生	個性派女子学生
BB	ベビー(baby)
VIP	要人、貴賓、VIP
辩手	弁論者
老土	ダサイ人、時代遅れの人

(三) 政治・行政

总设计师	総設計師(鄧小平を指す)
特首	特別行政区長官

国家公務員

国家公務員

空降兵

地方出向幹部

挂职干部

元来の職を保留し、一時的にある職をひき

うける役人

海归(龟)

帰国中堅スタッフ

一把手

ナンバーワン

廉内助

清廉幹部の夫人

貪内助

汚職幹部の夫人

走读干部

単身赴任の通いの幹部

村官

村役人

第一代领导人

新中国第一世代指導者(毛沢東を中心とし

た指導グループ(周恩来、劉少奇、朱徳など

を指す)

第二代领导人

新中国第二世代指導者(鄧小平を中心とし

た指導グループ)

第三代领导人

新中国第三世代指導者(江沢民を中心とし

た指導グループ)

第四代领导人

新中国第四世代指導者(胡锦涛、温家宝な

どを中心とした指導グループ)

婆婆

①しゅうとめ ②口やかましい目付け役

弱勢群体

社会的弱者層

強勢群体

社会的強者層

新长征突击手

若手特別功勞者

双規人

軟禁被疑者(規定された場所と時間帯で紀
律検査委員会の担当者に汚職や犯罪行為
を供述させられる党幹部)

(四) 經濟

納税人

納税者

彩民

宝くじファン、宝くじ購買者

彩迷

宝くじマニア

巨貪

巨額汚職人物

大款

金満家、金持ち

款爷

お金持ち(ふざけを含む)

富婆

大金持ちのマダム

倒爷

横流しブローカー

金融炒家

金融ブローカー、金融投機商

官倒

役人ブローカー

股评家

株式投資評論家

散户

小額株主

套牢族

株売買負け組

消費者

消費者

债权人

債権者

股民

個人投資家

炒家

投機ブローカー

操盘手

ディーラー

台商

台湾企業(ビジネスマン)

客商

他所から来たビジネススマン

外商

外国企業、外国人ビジネススマン

书商

書籍卸商

片商

フィルム・ディーラー

首富

ナンバーワン・リッチマン

贊助商

スポンサー

儒商

インテリ商人

(五) 医療

家庭医生

ホームドクター

全科医生

団地保健医

片医

地区の医者

游医

流れの闇医者

导医小姐

病院の案内係の女性

通科医

何でも科開業医

护(理)工

入院付添人

医托

偽患者、さくら

植树人

植树人間

(六) スポーツ

国脚

サッカーのナショナル代表

足球先生

サッカーの最優秀選手

足球宝贝

サッカーのマスコットガール

黑马

①穴馬、ダークフオース ②いきなり有名になった選手

黑哨

不正ジャッジ、八百長審判

金哨

「金笛」審判員、ゴールデンジャッジ

黑衣法官

サッカー審判員

第四官员

第四の審判員

球探

スカウト

外援兵团

助っ人選手団

洋教头

外国人監督

外援

外国人プレーヤー、助っ人選手

陪练

トレーニング・パートナー

(七) 法律

家庭律师

家庭弁護士

大法官

上級裁判官

独立董事

社外取締役

犯罪嫌疑人

容疑者

(八) 教育

博導
博士課程指導教官

博士后
ポスト・ドクター

碩導
修士課程指導教官

特級教師
特級教師

家教
家庭教師

外教
①外国人教師 ②外国人監督(コーチ)

特长生
一芸入試合格者

特招生
特待生

自费生
定員枠外の学生

代培生
派遣学生

高考状元
大学入試トップ合格者

高考落榜生
大学入試不合格者

特困生
経済困窮学生

议价生
学費割り増し学生(合格ラインに達せず、
割高の学費を納めて入学した学生)

赞助生
高額の寄付金によって入学した学生

MBA
MBA、経営学修士

(九) 街の最先端人類

哈日族
日本びいきの若者

哈韩族
韓国びいきの若者

砸迪族

雅飞士

帅哥

小弟

辣妹子

布波族

阳光女孩

雅皮士

香港小姐

发烧友

デイスコ族

ダメ男

イケメン、ハンサムボーイ

おホモだち

ホットガール(はきはきした若い女性)

ブルジョワボヘミアン(ボボス)

サニーガール、明るくてかわいい女の子

ヤッピー

香港レディ

マニア

(十) 芸能・娯楽

大腕
有名タレント

腕儿
タレント

男星
男性スター

女星
女性スター

俊星
二枚目スター

武星
武術スター、アクションスター

丑星
道化役、三枚目、ピエロ

影星
映画スター

影后
大女優、シネマクイーン

影迷
映画ファン

影帝

シネマキング

谐星／笑星

お笑いタレント

舞星

トップダンサー

歌星

人気歌手

棋星

超一流棋士

脱星

ヌードアイドル

裸星

ヌードスター

名导

有名な映画監督

穴头

プロモーター、興行師

经纪人

マネージャー、仲介人

追星族

追っかけ(人気歌手などの熱烈なファン)

FANS

ファン

(二) IT

程序员

プログラマー

爬虫

インターネットビギナー

网民一族／网民

インターネット利用者

网友

インターネットフレンド

网迷／网虫

インターネットマニア

网警

ネット犯罪を取り締まる警察

网医

ネットウイルス治療医

网哥

サイトへの男性訪問者

网蝶／网姐

サイトへの女性訪問者

网上情侣

ネットを通じた恋人

砸贴党

ネット掲示板の常連

打侠／大虾

インターネットのベテラン

菜鸟

インターネット初心者

飞鸟

ネットサーファー

老鸟

ネットの常連

网站管理人

ホームページの管理人

大虫

ネット虫、ネットおたく

美眉

メル友

ハンサムガール(ネット上の女性に対する

美称)

版主／斑竹

サイト設置者

版猪

サイト設置者に対する軽蔑表現

青蛙

ネット上の見た目がよくない男性

恐龙

ネット上の見た目がよくない女性

霉女

美女(ネット上冗談で女性を称する)

菌男(ネット上冗談で男性を称する)

黑客

ハッカー

蓝客

準ハッカー

灰客

ハッカーもどき

红客

確信犯

快客

玩机一族

虚拟主持人

虚拟歌手

虚拟偶像

ネット詐欺師

新機種ケータイにこだわる人々

ヴァーチャル司会者

ヴァーチャルシンガー

ヴァーチャルアイドル

(三) 治安

水警

铁警

海警

片警

空警

三陪女

三陪小姐

鸡

蛇头

偷渡客

鸡头

飞车党／飙车人

车扒

路霸

血霸／血头

水上警察

铁道警察

海上警察

户籍管理警察

航空乗務警察

(酒・ダンス・会話の)三つ伴ホステス

コンパニオン

売春婦、夜鷹

蛇頭(密航手配者)

密航者

売春組織のボス

暴走族

車内スリ

路上強盗

売血ボス

人蛇

水客

票贩子

人贩子

嫖客

白粉妹

粉友

团伙

杀手

车匪

村匪

乡霸

苦主

密入国者

密輸人

ダフ屋、闇切符売り

人買い(人身売買する者)

買春客

ヘロイン中毒の女性

ヘロイン仲間

ワル仲間

殺し屋

乗り物ごろ

村のゴロツキ

村のボス

被害者の家族

(三) 軍事

天军

士官

宇宙航空部隊、スペース部隊

士官

二 呼称語新語の特徴

新しい呼称語は形の上から以下のようなパターンに分類
することができる。

(一) 首のすげかえ型

この型の呼称語は従来の「×爷」「×户」「×嫂」「×领」「×星」「×霸」などを基本語素として、あるイメージを添える語の後にその基本語素を結合する形でつくるものである。一番多いのは「×星」であり、二十数語もある。それらを基本語素ごとにあげてみる(各パターン冒頭の下線を施した語は従来からあるものあるいは一群の新語のさきがけとなったもので、続けて列挙する新語群の祖型のように見られるものである)。

×星：寿星↓影明星、交际明星、影星、歌星、笑星、舞星、谐星、棋星、武星丑星、球星、裸星……

×爷：大爷↓板爷、侃爷、膀爷、(日本の塩川前財務大臣のニックネーム(シオジイ)を中国のメディアは「盐爷」としている)……

×户：清洁户↓五保户、关系户、万元户、冒尖户、外来户、专业户、拆迁户、钉子户、猎户、困难户、特困户、独生子女户、一孩户、个体户……

×专业户：种粮专业户↓养鸡(猪、牛、马)专业户、蔬菜专业户、运输专业户……

×嫂：大嫂↓空嫂、军嫂、月嫂、警嫂……

×霸：盐霸↓电霸、水霸、车霸、鱼霸、油霸、煤霸、菜霸、钢霸……

×生：自费生↓特长生、代培生、赞助生、特招生、高
考落榜生、议价生、特困生……

×小姐：千斤小姐↓空中小姐、公关小姐、礼仪小姐、
导购小姐、导购小姐、收银小姐、按摩小姐、三陪小
姐……

×姐：大姐↓空姐、巴姐、网姐……

×领：白领↓蓝领、金领、黑领、粉领……

後ろに従来ある人称語素をつけて、その特徴を生かしながら、新しい事象や概念を表す言葉をその前に据えて、現代的な呼称語が作り出されている。前の部分にくる言葉は、社会的なかわりが広く、一つの言葉がいくつかの基本語素に前置されることも多い。

例えば、

影×：影迷↓影星↓影帝↓影后……

的×：的哥↓的姐↓的爷……

空×：空姐↓空嫂↓空警……

网×：网民↓网虫↓网友↓网哥↓网姐↓利少↓网医↓

网蝶

家庭×：家庭妇女↓家庭主妇↓家庭主男

外来×：外来户↓外来妹

ご覧のとおり、首のすげかえ型の呼称語は基本語素の伝統語や造語法を踏襲しているので、新語の作られ方として、自然である。初めて見たたり聞いたりする中国人にも、分か

りやすい。

(二) 発音の近い漢字に入れ替えたもの

海归(hàiguī) — 海龟(hǎiguī)

知本家(zhīběnjiā) — 资本家(zīběnjiā)

菌男(jūnnán) — 俊男(jùnnán)

霉女(méinǚ) — 美女(měinǚ)

美眉(měimeī) — 美妹(měimèi)

この形の呼称語は同音あるいは近似音ながらも字が違う。また、台湾、香港の方言の影響を強く受けていることも多く、標準語しかりやべらない人はこのような呼称語を聞いて、すぐにピンとこないことがある。漢字の入れ換えは単に新しい概念のためだけでなく、言葉の遊びや「洒落」の要素を含む傾向が強く見られる。

(三) 比喩転用型

もとの意味を比喩として転用しながら現実社会に存在している人を表す。

例えば、

香蕉人、蜘蛛人、婆婆、空降兵、小皇帝、平面人、啄木鸟、黑马、房虫、吧蝇、青蛙、走读干部、跑街先生……

この形のものとは転用される前の元の意味と呼称対象の社会的背景をつなぐことで、人がこの呼称語の意味や精神を

理解できるものになっている。

「香蕉」(バナナ)と言われて思い浮かぶイメージは、いろいろあるだろうが、皮が黄色く、中身が白いことも確かである。「香蕉人」(xiāngjiāorén)は欧米で長く生活して、母国語もうまくしゃべれないし、母国の事情も分からない中国人のことを言うのによく用いられる。皮膚は黄色いが、物の考え方は外国人的だというのである。中国では改革开放政策がとられるようになってから、数十万人の若い人が海外へ留学に行き、外国の大学や大学院を卒業したあと、現地で就職した人も多い。そこで結婚して生まれた子供はほとんど「香蕉人」ということになる。

「蜘蛛人」(zhīzhūrén) (蜘蛛の人) は元の意味からの転用が二回重なっている。一次的転用語は「スパイダーマン」であったが、最近近代的なガラス張りのビルが多くなり、そこからさらに転用されて、そのビルの外側を掃除する人たちのことを「蜘蛛人」という。

「婆婆」(pópo) (姑) は元の意味は姑しゅうとめのことではあるが、普通の人の姑に対するイメージは話がくどく、よく嫁にけちをつける存在である。現在の中国では自分たちの職場に上級機関あるいは親会社から来た役人や社員のことを言うのにそのイメージが援用された。ここの「婆婆」は男にも使えるのである。

「空降兵」(kōngjiàngbīng) (空挺部隊) は中央から地方人

民政府に外向している人を指す。日本の「天下り」にイメージは似ているが、意味はかなり違う。日本では「官庁退職後の幹部などを民間会社や団体などに受け入れさせること」(『広辞苑』より)を指すが、中国では中央官庁から派遣された幹部は地方での仕事をして、経験を積んでからまた中央官庁に戻り、出世するケースが多い。

「小皇帝」(xiǎohuángdì)は中国の一人っ子政策により、子供一人の家庭ではその大切な子供を甘やかしすぎになりがちである。過保護にされている子供は家ではまるで昔の皇帝のような存在だというのである。

「平面人」(píngmiànrén)は学識がなく、物の見方や考え方が皮相的で深みのない人を指す。

「啄木鳥」(zhuó mù niǎo)は本来キツツキのことである。ここではその習性を借用して、顧客サービスの覆面監視員を言う。硬く鋭いくちばしで皮の下の虫をつつき出して食う「啄木鳥」のように悪徳商人を退治するという意味である。

(四) 輸入型

このパターンに入るものには主に英語からのものと日本語からのものがある。

「×領」は英語の「collar」が輸入されてきたものである。ところが、英語ではホワイトカラー「white collar」(白領)、ブルーカラー「blue collar」(藍領)ぐらいである

うが、このような表現が中国に入ると、小白領「midjet white collar」、金領「golden collar」、黒領「black collar」、粉領「powder collar」と文字通りいろいろに派生してにぎやかな一群の新語が出現することになった。

「族」は中国語としては家族、一族、民族、種族というような意味にしか使わなかった。それが日本語の漢語の造語成分として使われるうちに本来の意味を超えて社会の一部の人々の存在様式類型を名づけることにも使われ始めた。「暴走族」「窓際族」「蛍族」などがその典型的な例である。こういう表現法がまた中国に伝わって、新しい呼称法として使われるようになった。

例えば、「工薪族」「上班族」「追星族」「打工族」「丁克族」「砸迪族」「哈日族」「哈韩族」「波波族」「青春族」「网民一族」「海归族」「有车族」「月票族」などがある。

(五) 復活型

中国で改革開放までに一時は死語になっていた「老板」「小姐」「二奶」「嫖客」などの旧い呼称語が最近また復活してきた。このような呼称は若い人にとつて旧いというよりむしろ新しい言葉のように見えるであろう。これらの呼称は新中国の政治運動の中で批判されたもので、この呼称語で呼ばれたら、侮辱されたと思われる時期もあったが、今は「老板」「小姐」と呼ばれてもなんでもなないようになっ

た。このような呼称語の復活を通して、中国社会のある種の変化がうかがえる。

中国のあるレストランで服務員に「老板您在哪儿发财？」（直訳：社長はどこで儲けておられますか↓どこにお勤めですかの意）と聞かれた時に私は笑いを押さえることができなかった。「老板」という表現は旧い中国では私営業者のことであつたから、文化大革命の時代には資本家なみに批判された。この言葉にもみなあまりいい感じはもつていなかった。それが後になつて、中国の経済が発展し活発化するにつれて、個人経営者の成功が多くなり、「老板」ならきつと金持ちだろう。むしろ憧れの対象だということになつてゐる。そういうわけで「老板」という呼称も復活してきたのである。現在の中国の商品には「老板桌」（社長用デスク）、「老板椅」（社長用の椅子）、「老板鞋」（社長用の皮靴）などの「老板」を付けて高級を装うものが結構多く、なかなかの売れ行きだそうである。そうは言つても「老板」という呼称は多くの場合にほめごろしのような意味をもつので、中国のインテリの間では依然として、このような言葉で呼ばれることにはかなり抵抗感がある。中国の『人民日報』の一九九八年一〇月四日付に「称谓之忧」という文章が載つた。その節を紹介すると、「有些地方是可以称“小姐”或“先生”的，有些地方则不可以。称“同志”为“小姐”或“先生”，称领导为“老板”或“大爷”，如此称谓令人堪忧—

（場所によつて、「小姐」あるいは「先生」と人と呼んでもよいが、場所によつてそう言つてはいけないところがある。

「同志」を「小姐」あるいは「先生」と呼び、責任者を「老板」あるいは「大爷」と呼称することには、はなはだしく心配させられる。この心配に共感を持つ者は少なくないだろう。呼称によつて、異なつた性質の人間関係を表すことになるので、「同志」の代わりにほかの呼称をやたらに用いることは当然問題を引き起こす元になる。新中国でも未婚の女性に「小姐」、結婚した女性に「太太」という旧い時代の呼称が継続して使用されていたが、五〇年代の後半から政治運動が続き、「老爷」「先生」「少爷」と「小姐」「太太」はブルジョア階級のものと思なされて、耳ざわりな呼称になつたため、だんだん使わなくなつた。その考え方や感覚を心の中に持っている中国人は今も多い。新語を無難に使いこなすには、中国人自身にも細かな注意が必要である。

（六） 旧い呼称に新しい意味の添加

「同志」「爱人」「小姐」

「同志」という表現が最初に現れたのは『後漢書・劉陶伝』の中の「所与交友，必也同志」（ともに交わる所の友は必ず志を同じうす）である。ここでは志向や趣味が同じである人を指す。近代になつて中国には孫文の「革命尚未成功，同志仍须努力」という名句がある。ここの同志は志と

信念を同じくする同一政党の人を指している。近代中国の政治運動の中で、共産党も、国民党も「同志」を使ってきた。「同志」について『現代漢語詞典』は「①为共同的理想、事业而奋斗的人，特指同一个党的成员。②人们惯用彼此之间的称呼」(①共通した理想、事業のために奮闘する人のこと、特に同一政党のメンバーを指す。②我が国人民がふだんお互いを言う呼称である)と解釈されている。新中国になってから、「同志」が党員を超えて広く使われるようになってきた。改革開放まで一番よく用いられた呼称語は何といても「同志」であり、「同志」ほど広く使える便利な呼称語はない。中国では人々のコミュニケーションにおいて、男女を問わず、年齢(子供を除いて)、職業、社会的地位を問わず、みな互いに「同志」と呼称しあうことができた。街を歩いていて面識のない人や政府機関の役人やデパートの店員、ホテルの従業員、レストランの従業員などにも対してもみな「同志」と呼びかけていた。もう少し丁寧にすれば年配の方に「老同志」、若い人に「小同志」、男女を区別してはつきりするには「男同志」「女同志」、相手に親しくしてもらうために相手の苗字か職業を冠して、「张同志」「王同志」、「护士同志」「服务员同志」などと使われていた。

新しい中国が成立してから中央政府は官と民、解放軍の幹部と兵士の一致を強調し、互いに「同志」という言葉を

使って呼称し合うことを正式に提唱したことがある。そこで「同志」という言葉が中国人の互いの呼称語になった。

相手の職業、性別、年齢を問わず、「同志」という呼び合うことで、自然にお互い新中国のメンバーだという親しみが感じられ、中国でかなり幅広く浸透していったのである。

しかし、文化大革命の時代にはこの「同志」という呼称は階級闘争のパロメーターになり、微妙で鋭い意味を持つものになった。批判された人は思想改造をし自己反省した後に、最初に人から「同志」と呼ばれた時には、自分の反省が認められたことになり、涙が出るほど感激したというような話が多い。今日でも誤りを犯した幹部に対して、もしそれでもやはり「××同志」と呼称されるなら、まあ、まだ大丈夫だ。やはり「人民内部の矛盾」であり、身の自由がある。そうでなければ、もう失脚が決定したことを示すという意味がある。「同志」と呼ぶことはできない「敵と味方の間の矛盾」となって、身の自由が無くなることが多い。「同志」という呼称は中国の現代史の一面を強く反映した言葉であると言えよう。今でも中国の政府機関、解放軍の会議など正式な場面ではやはり「同志」と呼称するが、職場の同僚や隣近所の人に普段直接呼びかける際には使用しない。北京市のバスの車掌さんが今日でも習慣的に乗客のことを「同志」と呼び、「哪位同志还没买票？」(切符をまだ買っていない方は?)とアナウンスしている。しかし、現

在少数の人の間では「同志」という言葉は同性愛の相手を指して使われるという。新中国という歴史的な大事業を思い、残念に感じる人は多いに違いない。

「爱人」(爱人)は中国の「五四新文化運動」の時から呼称語として知識分子の間で使われ始めた。最初は、恋人のことを指していたが、その恋人と結婚しても、やはり「爱人」を使い続け、しだいに、配偶者のことを指す言葉になったという。互いに愛し合う人という意味である。新中国になつてから、都市部で「爱人」が広く使われるようになったが、しかし、この二〇年来、香港、台湾、日本の文化影響を受けて、この「愛する人」「夫または妻、配偶者」の意味から「情夫」「情婦」の意味に転換した用法が見られるようになった。最近、自分の夫を「老公」「先生」、自分の妻を「夫人」「太太」と言う人も多くなつた。しかし実際の問題として中国の大陸で人々は改革開放の前には「太太」という言葉に対してあまり良い感じを持たなかつた。『現代漢語詞典』では、「太太」は「①旧时通称官吏的妻子。②旧时仆人等称女主人。③对已婚妇女的尊称。④称某人的妻子或丈夫对人称自己的妻子(多带人称代词做定语)」とある。この中で「④人の妻を称する、あるいは夫が他人に対して自分の妻をいい、人称代名詞を冠して用いる」と説明している。この解釈で相手の妻を指すというのは妥当な説明だろうが、自分の妻のことを言うことには抵抗を感じる人の方

がはるかに多いだろう。もし、他人に自分の妻を「太太」と言えるなら、彼は普通の人ではなく、権勢のある金持ちというような社会的にも特殊な立場にある人と理解される。例えば、「您(的)太太身体好吗?」(奥様はお元氣ですか)という質問に答える場合、「我太太身体很好,谢谢!」(私の奥さんは元氣です。どうもありがとうございます)というような答え方は、普通の中国人はしない。それを聞いて耳ざわりでおかしいと感じても、ごく一般的なことだと思われる。「我的爱人(妻子)身体还好。谢谢!」と答えれば、自然だと思う。「太太」という呼称語は、商売をやっている人の間ではわりあいよく受け入れられているが、公務員や文化人の間では、まだ抵抗がある。また労働者や農民はもとから「太太」という呼称語は用いない。

現在の中国では、男性を「先生」というのと並んで、若い女性を「小姐」という呼称が広く定着してきているようである(広東省などの一部の地域を除く)。「小姐」という呼称は中国の唐の時代には女性を言う通称であり、宋の時代に地位のわりあい低い女性をさしていた。その後、どの時代からとはつきり言うのは難しいが、尊称として官僚やお金持ちの未婚の娘を呼称することになった。『現代漢語詞典』には「小姐」について「①旧时有钱人家里仆人称主人的女儿(旧い時代)、金持ちの家で働く使用人がお嬢さまに対して用いた呼称)。」②对年轻女子的尊称(若い女性に対す

る尊称」という説明がある。もともと使用人が主人の娘に
対して用いた呼称で（日本語の「お嬢さま」の意味で）、今
は①の意味はなくなつたが、他人の娘に対する尊称として
用いられている。「小姐」は「太太」と同じように中国の文
化大革命の時に「资产阶级臭小姐（娇小姐）」（ブルジョア
臭い「お嬢さま」「甘やかされるお嬢さま」という意味で
批判の言葉として用いられていたので、長い間普通に使え
る言葉ではなかつた。しかし現在では商店、ホテルの服務
員などのサービス業に従事している若い女性に対する呼び
かけに用いても、別に嫌がられることなく喜んで対応して
くれる（広東省など一部の地域を除く）。現在の「小姐」の
呼称は敬意が薄くても感じのよい響きを与える便利な呼称
となつている。日本語の「ミス……」「……さん」「……
嬢」「……ガール」に当たる。中国では現在「空中小姐」（ス
チュワードレス）、「导游小姐」（旅行社の若い女性ガイド）、「
导购小姐」（デパートの案内係）、「公关小姐」（涉外接待
係）、「礼仪小姐」（催しのコンパニオン）、「收银小姐」（レ
ジ係）などがそれぞれの職場でお客さんに愛想よく応対し
ている。営業を離れた場面でも「小姐」は未婚の若い女性
を呼ぶ敬称として用いるが、こういう場合の意味は日本語
の「お嬢さん、××さん」に当たる。中年以降の未婚女性
には「小姐」と呼ぶよりも「大姐」と呼んだ方がふさわし
い感じがあるようだ。しかし、最近「发廊小姐」（ヘアサロ

ンの女の子）、「按摩小姐」（マッサージの女性）など風俗業
と関連する女性を呼ぶのに使われることが多くなつてきて
いるのであまりよくないニュアンスを伴うようになった。

（七）褒義と貶義

呼称語を用いる際に、常にほめる意味合いとけなす意味
合いを見極める必要がある。中国の「爷」「嫂」にはともに
相手を敬う意味がある。しかし、「爷」の原義は年長の男性
に対する敬称ではあるが、「老爷」が旧社会では役人や金持
ちなどに対する呼称になつたため、人々の「×爷」に対す
るイメージが変わつてしまい、現在の新語の「板爷」「侃
爷」「膀爷」「盐爷」（シオジイ）などには尊敬の気持ちは全
く含まれていない。むしろ話題の人をふさげて言う時にマ
イナスの価値観を与えながら使われる。「×霸」「×仔」に
ついても言う人も聞く人もマイナスの意味を含む人物とし
てしかとらえないのである。

しかし、「×嫂」は現在でもプラスの意味である。「嫂」
の原義は実兄の嫁の意味で、やさしい母的な存在である。
今はすべて既婚の女性に対する呼称になつた。「×嫂」と言
えば、どういう類型の人を表すにしろ、話題の「×嫂」と
呼ばれる人に対して、尊敬の意味が含まれている。

三 社会の多元化による呼称の多様化

(一) 農村からの大量求職者たち

社会における役割の多元化によって、呼称の多様化が生まれる。一章にまとめた職業に関連する新呼称語は六十数語もある。その三分の二以上は新しい職種に対応して現れた。例えば「形象代言人」「形象大使」「礼仪先生」「小白领」「黑领」「金领」「自由职业者」「摩的人」「个体户」「个体老板」「名模」「自由撰稿人」などは、改革開放が行われる以前には見られない職業形態であった。

改革開放になつてから、中国では社会の労働方式に大きな変化が見られた。その代表的な姿はなんと言つても一九八〇年代から始まつた「民工潮」である。一億人以上の農村の労働力が都市へ職を求めに流れこんでおり、さまざまな職業に従事している。都市の間人は彼らを「农民工」「民工」と呼んでいる。「农民工」（農村からの出稼ぎ者）の多くは工事現場や建築現場や工場などで肉体労働に従事している。人の経営する会社や店などで働いている町の人間も「打工族」（出稼ぎ族）に加えるようになったが、町の人は自称として「私も『打工族』だ」といつても、人からはあまり言われない。農村からの「打工族」を男女で区別する

ため、「打工仔」（男性の出稼ぎ者）、「打工妹」（女性の出稼ぎ者）という。中国で最初の改革開放による特区都市—深圳で流入求職者（男性）を「打工仔」と呼び始めたと言われる。「农民工」は都市に来てから、いろいろな職についているが、いわゆる三Kの仕事に従事することが一般的だ。

「打工妹」の中には「小保姆」（ベビーシッター兼お手伝いさん）の仕事をする人が大変多い。雇い主の家に住み込んで、食事代と宿泊費は雇い主側持ちで、給料は地域や雇う家庭によって差があるが、普通は一日一〇—一五元である。その他、病院で病人の面倒を見る「护理工」や定時的に人の家で家政婦の仕事をする「小时工」「钟点工」（パートタイマー）などの仕事の時給は北京では最低六元である。北京のレストランで働いているウェイトレス「小姐」はほとんど地方から来た若い人であり、日当は普通二〇—三〇元前後である。技能を持ったコックや大工などは別として、臨時的性格を持つ職業としては給料がわりあい高い。月に一五〇〇元から数千元も稼ぐ人もある。「农民工」が都会に来て、中国の国民経済の成長と産業構造の調整を支え、中国の経済成長に貢献している。「彼らは一年目は泥臭く、二年目は都会っぽくなり、三年目は故郷に家を建てる」と言われている。農村から来た「打工妹」は都市で「小保姆」「小时工」すなわち「钟点工」「导购小姐」などの分野でそれぞれの役割を受け持つ。彼らは現代中国の都市住民にとつ

て欠かせない存在になったが、そうした一群の新呼称のどれも真の敬意を含むものはない。

(二) 女性の活躍分野の拡大

新語の呼称語の大きな特徴としては女性に関する呼称が大変多いことがある。「職業」と「社会存在」の項に挙げた半分近くが女性に関する呼称語である。これは女性が各分野に進出していることの反映であろう。経済が活性化するとつれ、都市のタクシーが多くなったが、香港では本土で従来使われてきた「出租汽车」のことを「的士」という。

今までタクシーの運転手はほとんど男性であったが、最近女性の運転手が多くなってきた。それでタクシーの運転手について男性を「的哥」、女性を「的姐」と呼ぶようになった。中国の他地域でもこういう呼び方を受け入れ、ほぼ定着する傾向にあり、新聞、雑誌でもこの呼び方がよくされている。

「空姐」(スチュワーデス)は改革開放の前にすでに「空中小姐」という呼び方があったが、それを簡略化して今では「空姐」という。この数年、航空運輸業の高速の発展に伴い、国有企業でリストラされた、素質がよく教養程度のわりあい高い女性が再就職して、航空会社の乗務員として採用されることが少なくない。彼女達は「空姐」より年が上だし、結婚もしているので「空嫂」(既婚のスチュワーデ

ス)と呼ばれている。「公关小姐」(涉外OL、広報部の若い女性スタッフ)は中国の大企業や会社で活躍している。

こういう職種における必須条件は一般的に若い美人で、酒にも強いことである。改革開放前になかった「收款小姐」(レジ娘)、「礼仪小姐」(イメージガール)、「服装模特」(ファッションモデル)、「月嫂」(子育ての経験をもち妊婦の出産後の世話する女性)などの職業が流行となっている。その他に「导购小姐」(デパートや商店の案内係)、「险嫂」(女性保険外交員)など、女性の新しい仕事の従事者を指す新語が次々と現れてきた。

近年、中国では保険業がますます発展してきたので、保険商品も多くなり、それをセールスする外交に従事する人は数万人にも上っている。こういう人たちは「跑街先生」と呼ばれている。「跑街」は街を駆け回ることであり、「先生」は男性のことであろう。「跑街先生」の収入の大部分は歩合であり、歩合率は一般に二五―三五%である。平均月収は六千元程度であるが、営業成績のいい人の月収は三―四万元に上るといふ。業界の現実として女性の外交員がやはりだんだん多くなり、「险嫂」という呼称がすでに現れている。「跑街小姐」という言い方を私は耳にしたことがまだないが、こうした呼び方もいつかは出てくるだろう。

四 不適當な呼称「打工仔」

前章で「打工仔」という新語を紹介したが、筆者はこの「打工仔」という呼び方に抵抗がある。なぜかというところには中国語の「崽」と同じ発音である。「崽」は中国の福建省、広東省あたりでは男の子供の意味であるが、もし「崽」の後ろに「子」を付ければ「崽子」で、「崽子」は動物の子供を指す言葉である。そして「狗崽子」「兔崽子」という言葉は中国では多くの場合に、人を罵る言葉として用いられる。「打工仔」という呼び方に人を軽く見る響きを感じる人は多いだろう。一方で都市出身の労働者は「打工仔」と呼ばないで「打工的」「蓝领」（ブルーカラー）と呼ぶのである。それはなぜか。新語の出現にはいろいろな社会的意味が伴うが、新たな差別や差別語の道具としないよう、慎重な配慮が必要である。

おわりに

呼称は人間社会のコミュニケーションの符号として、民族文化、民俗文化にかかわる内容を含んでいる。社会や世情の変遷のなかで、継承されるものもあるし、変化するものもある。中国語の呼称語をすべてを日本語に訳すことは

できない。親族関係の呼称語を見ても自分の親、兄弟などの呼称は一对一的に対応語を考えることができるものもあるが、日本と中国の文化的背景や国情が違うので、そう簡単にはできないものが多い。まして、親族以外の社会的呼称はなおさら対応をつけるのが難しい。呼称語はほかの品詞と違って、歴史性と時代性があり、親族呼称語に比較的形式上の安定があるほかは、人の社会上の存在様式や人間関係のあり方の時代による変化や多様化を反映し、変わるものである。新語に見られる中国語の呼称語は中国においても年配の方や社会の変化に対応が遅れている人にとっては理解しにくい面があることも事実である。

注

- 〈1〉『漢語新詞語』北京語言学院出版社、一九九一年—一九九四年毎年出版。宋子然主編『漢語新詞新語年編』四川人民出版社、一九九七年—二〇〇〇年。『五十年流行語詞語』山東教育出版社、一九九九年。『現代漢語新詞語詞典』一九七八—二〇〇〇』花城出版社、二〇〇〇年。『新華新詞語詞典』商務印書館、二〇〇三年。
- 〈2〉『現代漢語詞典』（修訂本）、中国社会科学院語言研究所詞典編輯室編、商務印書館、一九九六年。
- 〈3〉注〈2〉に同じ。

参考文献

愛知大学中日大辞典編纂処編『中日大辞典』（第二版）、大修館書店、一九九四年。

『漢語詞匯與文化』北京大学出版社、一九九五年。

『語文知識電視講座』廣播出版社、一九八二年。

『中国風俗概観』北京大学出版社、一九九四年。

『漢語称谓詞典』遼寧大学出版社、一九八八年。

『語言文化社会新探』上海教育出版社、一九八九年。

『現代漢語詞典』（修訂本）、商務印書館、一九九六年。

『中国称谓詞典』北京語言学院出版社、一九九四年。